

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第1区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2002-530677(P2002-530677A)
【公表日】平成14年9月17日(2002.9.17)
【出願番号】特願2000-584302(P2000-584302)
【国際特許分類第7版】
G 0 1 N 33/558
G 0 1 N 33/543
【F I】
G 0 1 N 33/558
G 0 1 N 33/543 5 2 1

【手続補正書】
【提出日】平成16年11月1日(2004.11.1)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項1】 試料内の検体を評価するための装置であって、
試験片を保持するための容器を備えるハウジングであって、該試験片は、検出すべき検体への結合が可能であって固定されている検体結合剤を含む、検体測定領域と、制御結合剤への結合が可能であって固定されている第1制御剤を含む、第1制御測定領域と、前記第1制御測定領域の前記第1制御剤と同一の制御結合剤への結合が可能であって固定されている第2制御剤を含む、第2制御測定領域とを含み、前記第1制御測定領域及び第2制御測定領域は、異なる量の固定された第1制御剤及び第2制御剤を含む、前記ハウジングと；

前記検体測定領域に結合された第1検体の量と、前記第1制御測定領域内に結合された前記制御結合剤の量と、前記第2制御測定領域内に結合された前記制御結合剤の量とを測定するセンサシステムと；

前記第1制御測定領域および第2制御測定領域における前記制御結合剤の測定量の間の関係と、前記検体測定領域に固定された前記検体の測定量とに基づいて、前記試料内の検体量を評価するプロセッサおよびメモリ資源と、
を含む、前記装置。

【請求項2】 前記試験片を加熱する加熱要素をさらに含む、請求項1に記載の装置。

【請求項3】 前記加熱要素は、前記試験片の局在化した領域に熱を加える、請求項2に記載の装置。

【請求項4】 温度フィードバック制御をさらに含む、請求項2に記載の装置。

【請求項5】 前記試験片へと前記試料が加えられたことを検出する機構をさらに含む、請求項1に記載の装置。

【請求項6】 前記試料が加えられたことを検出する機構は、電気的ポテンシャルを受けて電界を発生させる離隔された電気的リード線のペアを含む、請求項5に記載の装置。

【請求項7】 前記電気的リード線は、誘電層を有するコンデンサを形成し、該誘電層は、前記試験片が前記試料を受容した場合に変化する、請求項6に記載の装置。

【請求項8】 前記プロセッサと前記メモリ資源とは、前記電気的リード線に結合され、前記試料が前記試験片に加えられたことが検出された場合に検定の時間計測を開始する、請求項6に記載の装置。

【請求項 9】 前記電氣的リード線は、前記試験片に充分近接して整列された同一平面上のプレートの対を含んでおり、前記試料が前記試験片へと加えられた場合に、同一平面上のプレートと、前記試験片との間の誘電定数の変化を検出する、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 10】 前記試料が電界に侵入することにより開始される温置時間の後に前記プロセッサおよび前記メモリ資源は、前記試験片を分析する、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 11】 前記プロセッサおよび前記メモリ資源は、前記第 1 制御測定領域並びに前記第 2 制御測定領域の外部及び前記検体測定領域での測定に基づいてベースラインを生成し、前記第 1 制御測定領域および前記第 2 制御測定領域における前記制御結合剤の測定と前記ベースラインとを使用して曲線を形成し、前記曲線を使用して前記検体の測定を定量することにより、前記検体量を評価する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 12】 前記プロセッサおよび前記メモリ資源は、前記試験片の前記検出領域および前記制御測定領域のための開始境界および終了境界を位置決めするコードを実行させる、請求項 11 に記載の装置。

【請求項 13】 前記センサシステムは、反射率を検出するための光学センサを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 14】 前記センサシステムは、蛍光センサを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 15】 前記センサシステムは、アナログ／デジタル変換器を介して前記プロセッサおよび前記メモリ資源に結合される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 16】 前記メモリ資源は、前記プロセッサに対してアクセス可能な複数の検定表を記憶し、前記プロセッサが複数の検定表から 1 つの前記検定表を選択することにより前記検体および前記制御結合剤の評価コードを実行させる、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 17】 前記プロセッサは、前記複数の検定表から前記検定表を選択するための入力を受信する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 18】 各検定表は、選択されたラテラルフロー検定の実行時間の長さを制御する検定時間パラメータを含む複数のパラメータを記憶する、請求項 17 に記載の装置。

【請求項 19】 前記装置は、さらに走査システムと前記容器内の前記試験片のと相対的な走査を可能とするモータを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 20】 請求項 1 に記載の装置及び容器内に位置決めされるようにされている試験片を含むキットであって、

該試験片は、検出すべき検体への結合が可能であって固定されている検体結合剤を含む、検体測定領域と、制御結合剤への結合が可能であって固定されている第 1 制御剤を含む、第 1 制御測定領域と、前記第 1 制御測定領域の前記第 1 制御剤と同一の制御結合剤への結合が可能であって固定されている第 2 制御剤を含む、第 2 制御測定領域とを含み、前記第 1 制御測定領域及び第 2 制御測定領域は、異なる量の固定された第 1 制御剤及び第 2 制御剤を含む、前記キット。

【請求項 21】 前記試験片はラテラルフロー試験片である、請求項 20 に記載のキット。